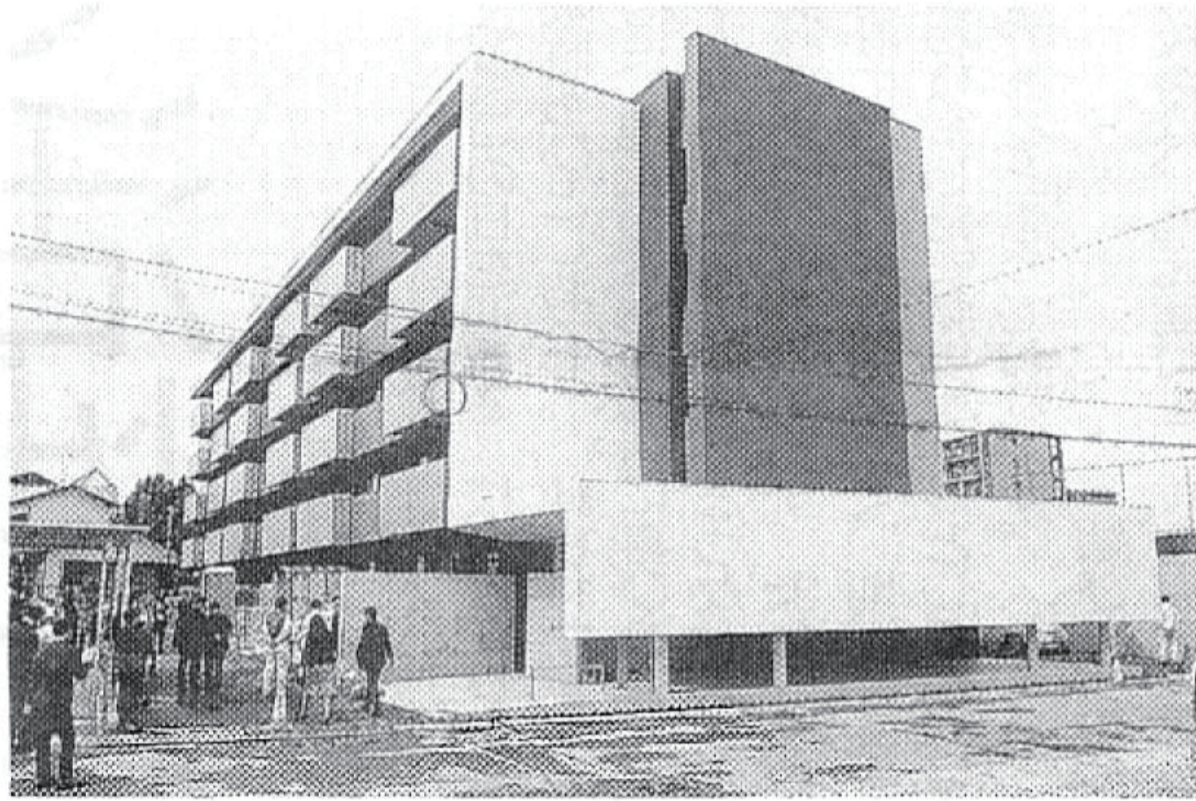


新築と同等の融資枠実現

光第2ビルリファイニングが完成



青木茂建築工房

青木茂建築工房（青木茂代表）

が設計した光第2ビルリファイニング工事が完成し、写真、16日に福岡県大野城市の現地で完成見学会が開かれた。ビルオーナー、設計事務所、ゼネコンなどから約70人が参加し、熱心に見学した。

同ビルは築41年が経過した共同住宅。建物の老朽化や間取りの陳腐化に加え、5階建てながらエレベーターがないなどの理由で入居率の低下が課題となっていた。リファイニング工事ではエレベーターとエントランスホールを増築するとともに、間取り、設備、外装を一新した。間取りは2LDKと1LDKの2タイプ。外観は既存

の外壁部分をグレー、エントランスなどの増築部分を白とした明快なデザインとした。室内は白を基調に明るい色で仕上げ、キッチンまわりを木質化した。

また、確認申請、工事完了検査、耐震診断の実施とリファイニング前後の記録を網羅した家歴書の作成などにより、建物の法定耐用年数ではなく、物理的な残存寿命を基に新築と同等の35年返済という新たな融資の枠組みを実現した。

施工は北洋建設が担当。建物の解体と補修を並行して行うなどの工夫で短工期を克服した。

規模はRC・S造5階建て延べ1784平方メートル、住宅30戸。構造設計は構造FACTORY、設備設計はシーイーエフ設計。所在地は同市中央1-7-2。